

琵琶湖と白鳥

八田知昭

昭和46年11月から琵琶湖が全面鳥獣保護区となり、その年から飛来、定着して遊泳する水鳥の姿が、湖岸各所でみられます。

また、年をへるごとにその数は増加し、湖岸からのカンウトは5万羽以上になり、沖合数を推定しますと、15万羽以上といわれています。その上、湖岸近くで人なつこくなったのも事実です。

さて、このような水鳥の楽園琵琶湖と白鳥は、夢の夢でありました。折角、昭和40年頃に5羽ほど琵琶湖の南と、琵琶湖の西、安曇川沖合でみられたものですが、その頃は保護区でなく、続いての飛来がみられなかったのは、まことに残念でした。

ところが、49年の11月から、毎年続いて飛来するようになり、夢ではなくなりました。

山東町にお住いの布施国夫さん(日本野鳥の会々員)の熱心な観察の結果は別表のとおりです。

なお、この記録は琵琶湖の北部、長浜市近辺におけるものですが、琵琶湖の南部、草津市沖でも最近県野鳥の会リーダー岡田登美男さんの観察記録がありまして、湖南と湖北の関連をしらべようと思っています。

いずれにしても、湖が大きいものですから方位に分けて、湖北(長浜市・近江町・びわ町)湖南(草津市)の川口部とかよしの生育する水深の浅いところが適地のようです。

湖西では今津町・新旭町で1羽とか、多くても5羽までのグループですが、1日~2日の観察が連年ではありませんがみられています。

いずれ南部における数字を入手して、北部との重なり具合をしらべようと考えています。

また、このように一度に数の多くはのぞめませんが、徐々に飛来数が増加するよう、その対策を各地の先輩各位に指導していただく必要を感じています。



〔琵琶湖に渡来したコハクチョウの一家族〕

布施国夫さんの観察記録

年月日	場所	成鳥	幼鳥	計	備考
S 49. 11. 18	近江町	2	5	7	
11. 26	長浜市	2	3	5	1/2までつづく
50. 1. 2	"	3	3	6	2/9までつづく
2. 9	"	3	3	6	午前7時 北方へ飛立つ
12. 21	"	2	5	7	2/16までつづく
51. 2. 16	びわ町	2	4	6	
10. 27	長浜市	3	1	4	10/29までつづく
52. 11. 27	びわ町	3	2	5	12/4までつづく
12. 4	"	6	3	9	12/9までつづく
12. 9	"	8	3	11	12/15までつづく
53. 2. 10	"	2	3	5	